

「使用済み紙おむつのリサイクル推進に向けた実証事業」の進捗について

東京都による「使用済み紙おむつのリサイクル推進に向けた実証事業」において、町田市が協力する事業者（2グループ）が行う実証事業の進捗について、報告します。

1 事業の目的

家庭から排出される使用済み紙おむつを回収し、リサイクル処理を行うにあたっての、現状課題の把握と当該課題に対しての対策を明確にすること。

2 事業の概要

(1) 参加事業者・団体

Aグループ 小田急電鉄(株)、ユニ・チャーム(株)、町田市

Bグループ 凸版印刷(株)、トータルケアシステム(株)、住友重機械エンバイロメント(株)、白井グループ(株)、町田市、八王子市

(2) 実施内容

Aグループ

指定した地区（南つくし野）の家庭から使用済み紙おむつを分別回収し、鹿児島県大崎町の施設にてリサイクル処理を実施する。

Bグループ

指定した地区（三輪緑山の一部）の家庭に加えて、集合住宅等の拠点から使用済み紙おむつを分別回収し、福岡県大牟田市の施設にてリサイクル処理を実施する。

(3) 市が得られるデータ及び課題

- ①分別回収の見込量、排出世帯割合の把握
- ②異物混入への効果的な啓発方法の検討
- ③効率的な収集・運搬方法の検討（システム比較）など

3 事業の進捗

Aグループ

10月14日にプレスリリースを行い、現在は、全3回の収集のうち、1回目（11月27日）が終了しました。

Bグループ

11月12日にプレスリリースを行い、現在は、全4回の収集のうち、2回目まで（1回目：11月22日、2回目：11月25日）が終了しました。収集した紙おむつは、リサイクル施設へ運搬しました。

4 今後のスケジュール

Aグループ（小田急電鉄株）

2021年12月11日	収集（2回目）
2022年 1月	収集（3回目） リサイクル施設へ運搬・リサイクル処理
2～3月	実証事業の報告書を事業者が作成し、東京都へ提出

Bグループ（凸版印刷株）

2022年 1月	収集（3・4回目） リサイクル施設へ運搬・リサイクル処理
2～3月	実証事業の報告書を事業者が作成し、東京都へ提出